

平成 2 4 年度

「医薬品副作用被害救済制度に関する認知度調査」結果

< 速 報 値 >

1. 調査の目的

医薬品副作用被害救済制度の認知度の状況を把握するとともに、より効果的な広報のあり方を検討することを目的に、一般国民及び医療関係者を対象に調査を実施。

2. 調査の概要

(1) 調査方法

インターネット調査（調査会社における登録モニターを対象に実施）

(2) 調査対象者

①一般国民

全国の 2 0 歳以上 計 3, 1 1 4 人
（各年代（20 代、30 代、40 代、50 代、60 代以上）ごとの男女）

②医療関係者

全国の 2 0 歳以上の医師、薬剤師、歯科医師、看護師 計 3, 5 5 7 人

(3) 調査時期

平成 2 5 年 3 月 1 9 日～ 2 1 日

(4) 調査項目

①一般国民

・医療機関の受診率、制度の認知度、制度の内容理解度、制度への関心度、広告の接触媒体、キャラクターの評価 など

②医療関係者

・制度の認知度、制度の内容理解度、制度の認知経路、制度への関与経験、制度利用の勧奨率 など

3. 調査結果概要

(1) 一般国民

主な調査項目と調査結果	
○ <u>過去1年以内の医療機関の受診率</u>	
「受診した」	80.3% (84.7%)
○ <u>制度の認知度</u>	
「知っている」	5.3% (5.0%)
「名前は聞いたことがある」	15.4% (18.9%)
合 計	20.7% (23.9%)
○ <u>制度の内容理解度</u>	
「公的制度である」	51.1% (62.5%)
「副作用による健康被害について救済給付を行う」	48.8% (53.4%)
「入院相当の疾病や傷害などの健康被害への救済給付」	31.8% (23.0%)
○ <u>制度への関心度</u>	
「関心がある」	16.4% (14.5%)
「やや関心がある」	62.2% (55.8%)
合 計	78.6% (70.3%)
○ <u>広告の接触媒体</u>	
「病院・診療所」(クリニック)	41.9% (44.5%)
「薬局・薬店」(ドラッグストア)	31.3% (45.9%)
「新聞」(全国紙)	18.5% (34.3%)
○ <u>キャラクターの評価</u>	
「好感が持てる」	70.2% (71.1%)
「キャラクターとしてふさわしい」	65.0% (65.8%)
「信頼感がある」	58.6% (56.8%)
「イメージしやすい」	54.2% (61.4%)

() は平成 23 年度調査結果

(2) 医療関係者

主な調査項目と調査結果			
○制度の認知度			
「知っている」			51.3% (50.2%)
「名前は聞いたことがある」			28.7% (32.5%)
合 計			80.1% (82.7%)
※以下、職種別（「知っている」＋「名前は聞いたことがある」）			
・ 医師	50.6% (47.0%)	+36.5% (42.4%)	=87.1% (89.4%)
・ 薬剤師	87.6% (84.3%)	+10.9% (14.1%)	=98.5% (98.4%)
・ 看護師	21.9% (20.7%)	+36.5% (39.4%)	=58.4% (60.1%)
・ 歯科医師	33.6% (46.3%)	+35.9% (37.3%)	=69.4% (83.6%)
○制度の内容理解度			
「公的制度である」			81.5% (86.1%)
「副作用による健康被害について救済給付を行う」			80.8% (82.5%)
「入院相当の疾病や傷害などの健康被害への救済給付」			53.0% (51.6%)
○制度の認知経路			
「医療関係専門誌」			24.4% (33.9%)
「人から聞いた／教えてもらった」			18.8% (15.8%)
「副作用報告制度の報告用紙」			16.4% (11.9%)
「パンフレット・リーフレット」			15.4% (13.1%)
「医薬品安全対策情報」(DSU)			12.5% (11.7%)
「PMDAホームページ」			11.7% (10.7%)
○制度への関与経験（請求手続等に関わった経験）			
「ある」			8.5% (7.7%)
※以下、職種別			
・ 医師			10.4% (10.6%)
・ 薬剤師			11.5% (8.7%)
・ 看護師			2.5% (3.2%)
・ 歯科医師			2.8% (3.7%)
○制度利用の勧奨率			
「勧めたい」			72.1% (73.5%)
「勧めたくない」			1.6% (1.8%)
「どちらともいえない」			26.3% (24.7%)
※以下、職種別			
	勧めたい	勧めたくない	どちらともいえない
医師	74.9% (73.5%)	1.6% (1.8%)	26.3% (24.7%)
薬剤師	81.3% (74.9%)	2.0% (2.1%)	23.2% (24.5%)
看護師	60.7% (69.8%)	1.7% (1.7%)	37.6% (28.5%)
歯科医師	72.0% (81.8%)	3.0% (1.2%)	25.0% (17.0%)

() は平成 23 年度調査結果